カタリスト血液化学検査
検体準備

お使いのIDEXX カタリスト Dx(Catalyst Dx® Chemistry Analyzer、動物用一般医療機器/臨床化学分析装置)またはIDEXX カタリストOne(Catalyst One® Chemistry Analyzer、動物用一般医療機器/臨床化学分析装置)は血清、血漿、全血、または尿検体を分析するように設計されています。精度の高い結果を得るために、血液化学パラメーターの分析時に常に検体を正しく準備することが重要です。

詳しい手順につきましては、お使いの操作ガイドをご覧ください。

全血検体(カタリストヘパリンリチウム全血セパレーター)

1. 採血前に、全血セパレーターの緑色の蓋を外してください。

2. プレーンのシリンジで採血後、凝固を避けるため**速やかに**シリンジから針を外し、**未処理**の全血検体700 µLをヘパリンリチウム全血セパレーターに移してください。
   ヒント:セパレーターの目盛りを使用して適切な容量を確認します。

3. 全血セパレーターを5回以上水平に円を描くようにゆっくりと回して、全血検体と抗凝固剤を混和してください(**転倒混和したり、振ったりしないでください**)。
   注意:全血セパレーターを検査器にセットする前に、蓋を外してください。

全血セパレーター推奨事項

全血セパレーターの最低線まで全血を入れてください(700 µL)。

注意:猫のAST、LDH、CKの測定以外では、全血セパレーター使用時に、ヘパリン処理済みの検体を使用できます(猫では過剰なヘパリンが、正誤差の原因となることがあります)。

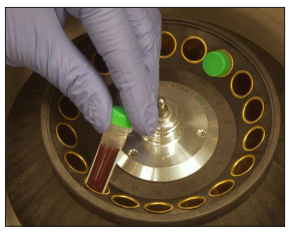
血漿検体

1. 適切なヘパリンリチウムチューブをご使用ください。
   EDTA或いはヘパリンナトリウムを使用しないでください。

2. 適切なシリンジをご使用ください。

3. ゆっくりと採血を行ってください。必要に応じて移してください。ヘパリンリチウム比が正しくなるように適量の検体を移してください。
   注意:真空採血管を使用する場合、検体が真空チューブ内に自然に入るようにしてください。

4. 検体を**30秒間**ゆっくりと転倒混和します。



5. 採取後30分以内に、検体の遠心分離を行います(遠心分離機の設定と時間に関しては、各遠心機器の操作ガイドをご覧ください)。

6. 遠心分離後、すぐに検体300 µLをカタリストサンプルカップに移します(血漿採取中に細胞を吸引しないように特に注意してください)。
   下記の「サンプルカップの推奨事項」を参照してください。

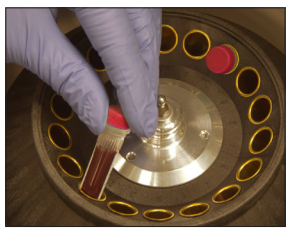
血清検体

1. 適切なチューブを使用してください。

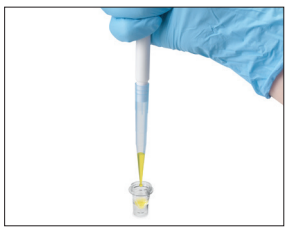
2. 適切なシリンジを使用してください。

3. ゆっくりと採血を行ってください。必要に応じて移してください。
   注意:真空採血管を使用する場合、検体が真空チューブ内に自然に入るようにしてください。

4. 検体を**20分間**以上凝固させます。



5. 採取後45分以内に、検体の遠心分離を行います(遠心分離機の設定と時間に関しては、各遠心機の操作ガイドをご覧ください)。

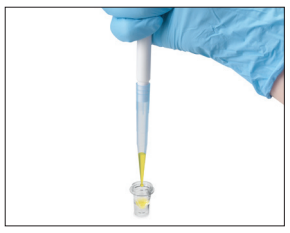


6. 遠心分離後、すぐに検体300 µLをカタリストサンプルカップに移します(血清採取中に血餅が混ざらないように注意してください)。
   下記の「サンプルカップの推奨事項」を参照してください。

尿蛋白/クレアチニン比(UPC)のための尿検体

1. 膀胱穿刺(推奨)、カテーテル、またはフリーキャッチ式で尿検体を採取したら、尿検体を使い捨てサンプルチューブに移してください。

2. 検体の遠心分離を行います(遠心分離機の設定と時間に関しては、各遠心機の操作ガイドをご覧ください)。



3. トランスファーピペットを使用して300µLの尿上澄みをカタリストサンプルカップに移します。右の「サンプルカップの推奨事項」を参照してください。

4. カタリストUPC専用希釈液300 µLをカタリストサンプルカップに移します。

サンプルカップ推奨事項

サンプルカップに検体を移す際は、気泡ができないよう注意してください。

IDEXX

IDEXX カタリストOne, IDEXX カタリストDx|動物用一般医療機器|臨床化学分析装置

© 2025 IDEXX Laboratories, Inc.無断複写・転載を禁じます。・06-26905-04
*Catalyst, Catalyst Dx, and Catalyst One are trademarks or registered trademarks of IDEXX Laboratories, Inc. or its affiliates in the United States and/or other countries.